

## 慶應義塾全体の実験動物の飼養保管状況等

### 1. 年度ごとに実験動物の種類と飼養数（全塾）

動物種	26年度	25年度	24年度	23年度	22年度
	飼養数	飼養数	飼養数	飼養数	飼養数
マウス	35,000	33,000	29,000	33,000	28,000
ラット	520	890	950	740	540
ウサギ	15	12	36	17	32
モルモット	3	0	0	3	10
スナネズミ	0	80	0	15	48
イヌ	0	0	2	2	6
ブタ	9	6	4	5	4
マーモセット	12	20	10	2	0
ハムスター	0	0	0	0	2
ニワトリ	0	0	孵卵37	0	0
ウズラ	20	0	0	0	0
その他トリ類	115	99	128	168	136
アフリカツメカエル	0	6	6	5	0

（毎年度10月1日 現在）

### 2. 年度ごとの承認された動物実験計画数（1年ごとの更新；全塾）

動物実験計画数	26年度	25年度	24年度	23年度	22年度
	316件	254件	297件	168件	175件

### 3. 年度ごとの動物実験に関する教育訓練の受講者数（5年ごとの更新；全塾）

教育訓練受講者数	26年度	25年度	24年度	23年度	22年度
	570人	459人	487人	422人	406人

### 4. 実験動物飼養保管施設（総数：65施設）

医学部動物実験センター、薬学部芝共立実験動物施設、他63施設

### 5. 動物実験委員会（計8名）

- （ア）動物実験等に関して優れた識見を有する者：5名（医学部細胞組織学、  
医学部解剖学、薬学部薬物治療学、理工学部生命情報学、文学部生物学）
- （イ）実験動物に関して優れた識見を有する者：2名（医学部動物実験センター、  
他大学の教員）
- （ウ）その他学識経験を有する者：1名（外部の学識経験者）